

監督及び競技者に対する注意事項

- (1) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、駅伝競走規準により次の区間から次走者を出発させる。この場合の出発の時期は最下位チームの走者と同時出発させ総合記録は認めないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める。
- (2) 配布された2枚のナンバーカードは、ユニホームの胸・背に確実につけること。
- (3) 各走者はタスキを肩から脇にかけて走り、次走者にこれをリレーする。(タスキは主催者で準備したものを使用する)
タスキを肩にかけていない者は失格となる。但し、引継ぎ前400m及び引継ぎ後200mは手に持って走ってよい。
- (4) ウォーミングアップはサブグラウンド周辺で行う。
- (5) 中継所において、タスキを渡し終わった選手は、すみやかに左側にはいる。
- (6) ①競技中の負傷等については応急処置を行いますが、それ以後の責任は負わない。
②競技終了後は周辺の清掃、片付けを行い、忘れ物のないようにすること。
③ゴミは各自で持ち帰ること
- (7) 参加者は大会2週間前から健康チェックシートで健康状態を毎日記録し体調管理すること。健康チェックシートの原本については個人情報の取り扱いに注意しながら、代表者が保存期間(1ヶ月程度)を定めて保管すること。大会本部から提出を求められたときは速やかに提出すること。(様式は陸協HPからダウンロードして下さい。)